

#### 4. 周辺道路、交通環境の整備

川崎駅は、首都圏や横浜方面、川崎南部地域や京浜臨海部方面への交通結節点となっており、その機能を十分に発揮する円滑な交通の確保が求められます。今後の羽田空港の国際化や京浜臨海部の再編の動向を見据え、交通需要の増加に対応する道路整備や、交通の円滑化を妨げる違法駐車を取り締まりなどを実施し、駅周辺の交通環境の改善を図ります。

また、自転車と歩行者が安全に通行できる道路の整備や自転車ネットワーク整備の検討を行い、交通環境の整備を進めます。



川崎府中線の違法駐車

##### (11) アクセス道路の整備推進

現在進められている西口大宮町地区及び西口堀川町地区等の再開発事業により、住宅や大規模商業施設などの都市機能が更新され、市内外からの交通需要の増加が見込まれています。これらの動向に対応するため、公共基盤の整備を進め、川崎駅西口地区への交通アクセス性の向上を図ります。



(仮称) 中幸町大宮町線

##### (12) 駐車対策の推進

川崎駅へ向かう幹線道路は、一般車や荷捌き車による違法駐車が多く、バス、タクシーなどの公共交通機関や一般車の通行に支障となっている箇所が見受けられます。交通誘導員による誘導・啓発活動や、「改正道路交通法」施行後の動向を踏まえた駐車対策を推進することで駅周辺の自動車交通の円滑化を図ります。

##### (13) 自転車と歩行者の共存

市民の手軽な交通手段として自転車が通勤・通学、買物に多く利用され、その利用者数は増加の傾向にあります。特に駅周辺の道路・歩道では、自転車と歩行者の通行が輻輳、混雑している状況が見受けられ、両者が共存できる交通環境の整備が課題となっています。西口大宮町地区及び西口堀川町地区等の再開発事業にあわせて、川崎駅への自転車・歩行者の通行を円滑にする自転車・歩行者専用道路を整備し、自転車と歩行者の通行における安全確保を図ります。また、自転車通行のネットワーク化を視野に入れた検討を進め、自転車の利用環境の向上をめざします。



自転車歩行者専用道路の整備事例

